

ライカ ジオシステムズ、ハイエンドクラスで傾き補正機能付き GNSS スマートアンテナ Leica GS18 T LTE を発表



【2024年12月6日 東京】計測テクノロジー業界のリーダーであるライカジオシステムズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:日比孝典)は本日、傾斜補正機能を搭載したGNSS スマートアンテナ、Leica GS18 T LTE(以下、GS18 T LTE)を発表しました。

従来の Leica GS18 T から無線機能を除き、SIM カードや WiFi を用いたインターネット通信によるネットワーク型 RTK 測量に対応。堅牢な設計により、測量やマッピングから建設やユーティリティの杭打ちまで、さまざまな用途で現場での耐久性と信頼性を保証します。最大 30 度までの傾き補正機能により、測量ポールが完全に垂直でない場合でも正確にポイントを測定できるため、特に厳しい環境や手の届きにくい場所でも、より迅速で便利なデータ収集が可能になります。

GS18 T LTE は、Leica Captivate フィールドソフトウェアなど、ライカ ジオシステムズの幅広い製品ラインアップとシームレスな互換性があります。また、効率的なスマートポールとして、ライカジオシステムズのトータルステーションと一緒に使用することも可能です。ユーザーの所有するライカジオシステムズ機器やワークフローと統合することで、効率を最大化し、追加投資を避けることができます。

GS18 T LTE は 4G/LTE SIM、WLAN、Bluetooth、内蔵メモリーが搭載され、NMEA(最大 10Hz)メッセージ出力など、包括的な機能を備えています。基地局または RTK ローバーとして使用できます。ローバーとして、単一の基地局またはライカジオシステムズ SmartNet のような RTK ネットワークで機能します。

【Leica GS18 T 製品ページ】

<https://leica-geosystems.com/ja-jp/products/gnss-systems/smart-antennas/leica-gs18-t>

Leica GS18 T LTE の特徴

- 直感的な操作で扱いやすく堅牢なデザイン
- Leica SmartCheck により 99.99%との最新の RTK テクノロジーによる高速な初期化
- Leica Captivate フィールドコントローラーを使用した幅広い機能に対応
- 傾き補正機能を搭載
- オリジナルアルゴリズムによる高精度測量を実現
- 555チャンネル対応で様々な GNSS 衛星を取得可能



Leica Geosystems – when it has to be right

200 年以上にわたり計測・測量の製品および技術で変革を生んできた Hexagon のグループカンパニーであるライカジオシステムズは、世界中のプロフェッショナルに向けて高品質のセンサー、ソフトウェア、サービスを提供しております。地理空間情報の利活用において、測量、建設、インフラ、鉱業、マッピング、地理空間コンテンツなど、実に多岐にわたる業界のプロフェッショナルをサポートしています。革新的な製品とソリューションの開発で知られているライカジオシステムズは、自律的な未来に貢献する先進的なソリューションで業界をリードしています。

Hexagon は、センサー、ソフトウェア、自律型テクノロジーを組み合わせたデジタルリアリティソリューションの世界的リーダーで、世界 50 ヶ国におよそ 24,500 人の従業員を擁し、総売上高は約 54 億ユーロです。

詳細については hexagon.com をご覧ください。Twitter で [@HexagonAB](https://twitter.com/HexagonAB) をフォローしてください。

プレスリリースに関するお問い合わせ先:

ライカジオシステムズ株式会社

マーケティング部 PR 担当: 保川

東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 18 階

Tel: 03-6809-3901

marketgeo.jp.tok.geo@leica-geosystems.com

ライカジオシステムズ株式会社

〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル18F

TEL : 03-6809-3901 FAX : 03-6809-3391

www.leica-geosystems.com